

第 1390 例会

5月22日(火)「金沢ニューグランドホテル」にて通常例会が開催されました。

若林会長の挨拶では、5月18日、19日に第64回334-D地区年次大会が開催され、20名ご参加いただきました。ありがとうございました。当クラブではアワード年間表彰にて100周年記念事業レガシー大賞「ライオンズクラブ国際協会創立100周年記念事業モニュメント設置及びメンバーによる清掃・除幕式の開催」と準グランプリで「思い出のランドセル・ギフト」の2つの賞をいただきました。また国際会長からのリーガシップアワードを堀岡昭夫.Lが受賞されましたことをご報告します。

来年度はキャビネットが高岡古城ライオンズクラブに移ります。キャビネットから運営面でいろいろな要請がきておりますが、時代の変化で少しずつ変わってきております。例えば、FWTについての当クラブのスタンスを検討していければと思っております。物事には変えていいもの、悪いものがありますが、足元を見直して今後のアクティビティを皆で考えていきたいと思っております。と挨拶を終えました。

本日のゲストスピーチは、NPO法人ささえる絆ネットワーク北陸 かなざわっ子 nikoniko 倶楽部 担当理事 喜成 清恵様より『地域で子どもを育てる「こども食堂」』の演題で講演いただきました。

こども食堂とは、子供一人でも安心して立ち寄れる居場所、無料もしくは安価で食事ができる場所、地域の大人と子供が交流できる場所であり、全国的に運営されています。なぜ必要かという点、核家族が進んだことによって生活が困窮していること、ネグレスト、家族の絆の希薄化、仕事に追われて子供と過ごす余裕のない保護者が多

くなっていること、行政が関与しにくいことなどが上げられます。分類として、ターゲット限定型（貧困の人対象）とユニバーサル共生型に分かれます。共生型は多様な価値観を共有でき、地域づくりに繋がり、地域の人々の理解が得やすいことがメリットです。

こども食堂は全国に2200か所程あります。金沢市では9か所あります。児童が歩いてでも行ける場所、地域で貧困家庭を支える手助け、行政に届かない声を拾える、教師を児童の家庭問題から解放するなどの点から見て小学校区に1戸が望ましいと思っております。

石川県の貧困対策はまだ見えていませんが、H25.6月に貧困対策の推進を進めることが法律で決まり、おとし、金沢市においては子供の貧困対策チームができました。去年4月に児童家庭相談室設置、今年4月に子供貧困対策委員会ができました。

身の回りに気になるお子さんがいたら「大丈夫」と声をかけてください。社会から無視されていると、子供たちは生きる希望を失います。

こども食堂を建てたい、支援したいという方がおられましたら、ぜひ連絡ください。と講演を終えました。

最後にテールツイスターが登場し、細川外茂治.Lから人類存亡の危機の話がされました。

記事：永野琢也.L